



かがみの議会だより

Kagamino town council news



議会HPへアクセスします

がしの木

第29号



みんな
の
笑顔

ヘッドライン・ニュース

- ◆ 6月・5月会議のお知らせ……………2～4
- ◆ 議長・副議長研修会&表敬訪問……………5
- ◆ 総務産業・文教厚生常任委員会報告……………6
- ◆ 予算決算常任委員会報告……………7
- ◆ 町政を問う 一般質問……………8～13
- ◆ ようやりようるなあ～・議会用語・
かがみ君の日記・編集後記……………14



おゆりん



みずりん

発行 鏡野町議会
2026年(令和8年)8月1日

6月会議で決まりました



令和8年6月3日～24日まで、6月会議が招集され、令和8年度一般会計補正予算（第2号）5億1800万円など、27件の議案が議決されました。

災害対策

災害対策臨時管理費

472万円

岡山県洪水浸水想定区域が更新されたことに伴い、ハザードマップの改訂を行う。



子育て支援

病児一時預かり事業

97万円

現在休止中の鏡野国保病院での病児の一時預かり事業を令和8年7月から再開する。



子育て支援

小規模保育事業費

2240万円

旧鶴喜保育園の園舎で民間事業者が実施する小規模保育事業を児童が利用した際に支払う委託料。
令和8年9月開園予定。



自治振興

富財産区事業助成金

120万円

富ひらめ祭の補助金



農業振興

高温に強い岡山米優良種子供給対策事業

106万円

高温耐性品種「きぬむすめ」の圃場を894.2aから1120aへ拡大し安定供給体制を堅持する。
高性能乾燥機の導入を行う。



橋梁維持

真開橋橋梁改修事業費

3億1517万円

床版の土砂化が著しく取換えが必要なため、仮設橋を設置し工事を行う。



学校管理

大野小学校臨時管理費

3700万円

大野小学校改修・増築工事に伴い、不足する駐車場の造成工事費。



生涯学習

かがみのスポーツマルシェ開催事業費

443万円

スポーツに親しむ機会の提供を図るため、幅広い年齢層が楽しめるニュースポーツを中心とした新たなスポーツと、マルシェのイベントを開催する。



財産の取得

- ◇除雪機械整備事業
マルチプラウ付き除雪ドーザ 8 t級
1426万円
契約の相手方：コマツ美作株式会社



工事請負契約の締結

- ◇大野小学校改修・増築工事
4億8297万円
契約の相手方：株式会社五月工建・株式会社鏡水
特定建設工事共同企業体

令和8年度 鏡野町一般会計補正予算（第2号） 賛成多数で可決！

討 論



花房議員

お試し住宅整備事業費補正予算960万について、築60年弱の老朽化している物件に対して、高額の事業費を投入することは理解できない。また、小規模保育事業費補正予算2240万円について2025年6月の議会全員協議会においての提案条件で、町の新たな財政支出を伴わないこと、施設の利活用に係る光熱水費、維持管理費等は、利用事業者の負担とすとなっていたにも関わらず、継続すれば、年間約4500万円に上る予算額の提示に疑問を持つ。以上2項目において、本件に反対する。

藤田議員

鏡野町は財政難の中で、傷みの激しい空き家を高い費用をかけてお試し住宅として改修する必要性に納得できない。公募の方法も改善する必要がある。お試しされる方のニーズは、できるだけ安く借りられるところを探している。



片田議員

お試し住宅整備事業費について、以前から町内4地域に短期型、長期型のお試し住宅を配備する計画があり、議会も認識していた。上齋原・奥津・富地域まで備わり、鏡野地域の整備が残っていた。本町への移住定住を促進するため、人口の流入を促すことが目的のお試し住宅事業の推進の一環として、整備事業費に賛成。ただ、今後においては、しっかりと4地域のお試し住宅を利用してもらえるよう、広報等に尽力してほしい。また選定委員に専門的な知識のあるものを入れるなど、選定委員設置要綱の見直しを検討することを申し添えて賛成討論とする。

仲西議員

契約もあって相手もあることで、これをしていないことによってまたさらに混乱を招くことが懸念されるので、諸手を挙げて賛成というわけではないが、致し方なく進めるしかない。古い建物を選んで本当にその改修をただけで、建物がきちっと使える状態で運用できるのかというところに正直疑問がある。運用の仕方について、しっかりと検証して改善する必要がある。その上で致し方なく、賛成。

反対
2



賛成
9



※原議長欠席。牧田副議長は採決に加わりません

請 願

■ 請願第1号

鏡野町における地域住民主体のまちづくりを支える「地域法務支援制度」の創設に関する請願

1. 地域組織が抱える公共的な法的課題について、弁護士等への相談費用を補助する制度を創設すること。
2. 開発事業等の重大な事案に対し、住民側の主体的な法的整理や交渉（代理委任）を可能にするための経費助成を検討すること。
3. 地域リーダーが法的トラブルを恐れず、安心して活動に従事できるための相談窓口や伴走型支援体制を整備すること。

■ 請願第2号

教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための、2027年度政府予算に係る意見書採択の請願

1. 中学校での35人学級を確実に実施すること。また、学級編制標準の引下げ等、さらなる少人数学級の推進について検討すること。
2. 学校の働き方改革・長時間労働縮減を実現するため、加配教職員の増員や少数職種の配置増など教職員の定数改善を推進すること。
3. 自治体で国の標準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配の削減はおこなわないこと。
4. 新規採用を持続的に確保し、教職員がその専門性を十分に発揮できる職場環境を整えとともに、長時間労働の是正や適正な給与水準の確保などにより意欲をもって働くことができるよう、教職員の処遇改善に必要な財政措置を講じること。
5. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げること。

5月会議で決まりました



令和8年5月11日に、随時会議が招集され、令和8年度一般会計補正予算（第1号）915万円など、2件の議案が議決されました。

物価高騰対策

高齢者福祉施設運営補助金

915万円

原油・物価高騰の影響を受ける高齢者福祉施設の安定的な運営を供するため補助金を交付する。
（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金）

条例の一部改正

◇鏡野町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

改正鏡野町旅費支給条例が令和8年4月1日から施行され、日当及び食卓料が廃止され、一般職員には支給されないが、議員のみ支給される不均衡が生じるために所要の改正を行う。

議員の旅費を「一般の職員に支給する旅費の例による。ただし、自家用車による交通費は支給しない。」に改める。

主な変更点

- ・日当（県外3,500円、県内2,500円）を廃止
- ・食卓料（2,000円）を廃止
- ・宿泊料は都道府県基準に統一

令和8年度 町村議会議長・副議長研修会&表敬訪問

～地方創生と人口減少対策及び鏡野町の発展のために～

【日 程】 令和8年5月26日～27日

1日目：東京国際フォーラム内研修会

2日目：B & G財団事務所、岡山県選出の衆・参議院議員会館

【派遣議員】 議長：原 章倫、副議長：牧田俊一

研修と訪問の目的

1日目は、地方自治体が直面している地方創生と人口減少対策の課題に対し、全国の自治体議会議長・副議長が一同に参加し、有識者3名による現状と改善及び対策を学ぶ講演と女性議員3名登壇によるディスカッションに参加。

2日目は、鏡野町の地域発展に多大に寄与されているB & G財団を表敬訪問。その後は岡山県選出の衆・参議員の事務所を訪問し、鏡野町が発展していくための政策について協議した。



〔京都女子大学学長 竹安栄子氏〕

研修会内容

- 地方創生の先行き―地域未来戦略とともに―
講 師：一般財団法人地域活性化センター理事長 はやしざき おさむ 林崎 理
- 人口減少社会における外国人の確保・育成の実践
講 師：東海大学教養学部人間環境学科教授 まんじょうめ まさお 万城目正雄
- 男女共同参画で地域を元気に～人口減少社会を生き抜く方策～
講 師：京都女子大学学長 たけやす ひでこ 竹安栄子
- 女性模擬議会の取組
モデレーター：京都女子大学学長 竹安栄子、宮城県蔵王町議会議員3名
テーマ：町制施行69年の空白を経て、女性議員の誕生・新しい風が吹く町へ

表敬訪問先

- 公益財団法人B & G財団
- 衆議院第二議員会館、参議院議員会館



研修を終えて

今回の研修は、地域づくりに「第5次産業革命としてAIの登場と活用政策」、「外国人労働者の確保と育成」、「男女共同参画で地域を元気に」をテーマにした講演内容で、未来に可能性を感じる国になるために『ピンチをチャンスに！』力を合わせて進み総意工夫で地域活性化を学んだ。また、表敬訪問先の公益財団B & G財団関係者の方との協議では、鏡野町との自治体連携開始から30年超を迎え、今後も地域社会の持続的発展への連携強化と幅広い事業活動の展開をお願いしました。2日間で学んだ内容を議会からの政策として積極的に提言してまいります。

常任委員会報告

総務産業常任委員会

●付託された議案2件は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

1 鏡野町印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について

法律の一部改正に伴い、個人番号カードの機能を持つ特定在留カード及び特定特別永住者証明書の交付が開始されるため、特定在留カード等の利用を可能とする改正を行う。

2 鏡野町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

一般廃棄物の適正処理を推進するため、町が直営で、し尿処理（収集運搬）をしておらず、今後もする見込みがないため、し尿処理に係る手数料の定めを削る。



文教厚生常任委員会

●付託された議案3件は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

1 児童福祉法等の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

児童福祉法等の改正により改正が必要となった、鏡野町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例、鏡野町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例及び鏡野町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例を、整理条例により改める。

2 鏡野町障害者医療費給付条例の一部を改正する条例の一部改正について

令和7年度税制改正に伴い、所要の経過措置を講じるよう改正を行う。

3 財産の無償貸付について

旧鶴喜保育園施設等の有効活用のため、子育て支援に資する事業の実施等が見込まれる団体に当該施設を無償で貸し付ける。期間は令和13年3月31日まで。

予算決算常任委員会

●付託された議案5件のうち一般会計補正予算については賛成多数で、他の議案4件は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

◆令和8年度鏡野町一般会計補正予算（第2号）

◆令和8年度鏡野町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）

◆令和8年度鏡野町富財産区特別会計補正予算（第1号）

◆令和8年度鏡野町国民健康保険病院事業会計補正予算（第1号）

◆令和8年度鏡野町下水道事業会計補正予算（第1号）

補正予算への質疑から

◆ 国民健康保険病院の病院整備設計委託料

Q 設計委託の実施内容は。

A 当初は3階建ての予定であったものを2階建てにするプランを検討しており、免震構造を耐震構造へ変更する予定で、その内容に沿った実施設計を行う。

◆ 多層的支援システム構築事業

Q 事業内容の説明となぜ鶴喜小学校だけなのか。

A 岡山県教育委員会からの委託で学校規模の条件から選定され、県内では4校が対象となっている。小学校算数が対象で、目的はデータに基づいて学習のつまずきを早期発見・対応するもので、目標として粘り強く問題解決できる児童を育成する。

◆ 防災イベント開催事業費

Q 例年実施している事業なのになぜ補正予算なのか、また内容の変更は。

A イベント経費削減のため、消防団との調整を行ったことによる。昨年からの変更点として、来場者の動線について検討の余地があり内部で検討している。地域の防災活動が訓練まで進んでいない現状を踏まえ、「参加し、学び、体験し、訓練する」と段階的にステップアップしていく将来像のもと、今回訓練の要素を取入れた。

予算決算常任委員会も2年目となりました。審査の方法もこれまでのグループ審査から、課ごとの審査へと変更されました。また質疑は事前の通告に基づき1事業につき3回までとするなどの変更を行いました。今後もより充実した予算決算審査ができるよう、少しずつ改善し取り組んでいきたいと考えています。9月の「決算議会」では、今まで以上に準備を行い審査に臨みたいと思います。

町政を問う

一般質問

一般質問とは、議員が町の行政全般にわたって執行機関に対し疑問点を質し、所信の表明を求めるものである。

ページ	議員名	質問内容
9	花房 尚	○国の交付金 ○農業振興費 ○町農業委員会 ①富小学校跡地を利用した木育施設
9	藤田 照子	○地域福祉の推進 ○高齢者福祉の推進 ①生活習慣の改善
10	光吉 準	①瀬島町政一年目を振り返って一行財政改革と総合計画 ○人工芝をやめプラスチック大国からの転換を ○図書館について
10	片田八重美	①幸福感が実感できるまちづくりとは
11	牧田 俊一	①認可地縁団体について ○基幹業務システムの標準化と電子郵便について ○橋の管理体制について
11	仲西 祐一	○鏡野町におけるDX推進の戦略的加速について ①観光局について
12	植木 卓	①消防団の環境整備の充実について
12	竹下 桂輔	①農業構造転換集中対策期間・鏡野町は何ができるか ○令和9年度からの水田政策転換・鏡野の水田はどう対応するか
13	小椋 明美	①生涯学習とスポーツの推進
13	鈴木 大介	○観光振興と公共的交通機関について ○公共施設について ①防災・減災の推進について

議会だよりには、1問のみ掲載しています。○印のものは掲載していません。

質問



富地域の「木育施設」整備事業は
今年度、なぜ急に中止になったのか



資材価格の高騰や建築労務費の上昇
などの事業費の増大が想定される

答弁

一問一答方式



花房 尚 [はなふさ ひさし] 議員

問 閉校した富小学校に「木育施設」を整備するという計画は、今年になってなぜ急に中止されたか。

答 町長

小学校施設を利用することで、用途変更のための整備事業費が、当初想定した額を大きく上回り、加えて、資材価格の高騰や建設労務費の上昇など今後さらなる整備事業費の増大も想定される。運営面においても、試算の結果、収入に対して運営費用や維持管理費に多くの経費を投下しなければ維持できないという見通しとなった。

問 「木育施設にする」という発表に、富地域の人は大きな期待を持ったと聞いている。発表以降、「説明会」は何回行ったか。また、中止のことは伝えていくか。

答 町長

計画の初期段階において、富地区の区長会に対し一回説明会を実施した。

現在、県外の学校法人から立地についての打診もあり開学に向けての協議調整を行っている状況にある。条件が整ったら、富地域の皆さんには改めてお知らせする。

問 町在住の木工関係者の方は、改善の提案や展示するおもちゃの制作などを続けてきた。その人たちの善意と努力にどのように報いていくか。

答 町長

木工関係者の皆様には、ご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。事業化が困難になったことは、たいへん心苦しく思っている。今後、多くの方々に木材の持つ「やさしさ」を知っていただく機会の創出について検討していく。



閉校した旧富小学校

質問



住民が主体的に健康づくりに
取り組むための方策は



町では現在3つの取組を進めている (①楽しく続けられる仕掛け ②自身の健康状態の見える化 ③個別支援の充実)

答弁

一問一答方式



藤田 照子 [ふじた てるこ] 議員

問 若い方でも急性心筋梗塞で亡くなる方が増えている。どのような生活習慣を改善する必要があるか。

答 町長

運動習慣の定着。健康教室等を通じて食生活改善活動の充実。禁煙、適正飲酒や十分な睡眠とストレスの軽減。健診により高血圧や脂質異常症を早期に見つけ、生活改善や治療につなぐことに努めている。

問 生活習慣を途中から改善するのは難しい。どうすれば改善できるか。

答 健康推進課長

確かに難しいので、子どもときから生活習慣病の予防に努める取組を始めている。内容としては、乳幼児健診時に栄養相談、生活リズムや食生活に関する相談、助言を保護者に行っている。今年度からは、5歳児健診で就学を見据えて望ま

問 しい生活習慣を啓発することにしている。運動面ではどうか。

答 健康推進課長

現在健康ポイント事業や健康チャレンジ90日事業などで、運動習慣の定着事業を進めている。この事業を継続して充実していきたい。

問 マンネリ化してないか。ユニークなチャレンジ項目をつくるなどできないか。

答 健康推進課長

全力歩行テスト、足踏みテストなどを体力チェックに取り入れるなど、ウォーキングの見直しなどを現在研究中である。



質問

総合計画策定と行財政改革に取り組んだ
瀬島町政1年目を振り返っての感想は住民の御理解と御協力で町政運営を進めてきた
病院再編事業の見直し等では混乱を招いた

答弁

一問一答方式



光吉 準 [みつよし ひとし] 議員

問

6月会議の冒頭で新たな予算編成方針が示され、その1点目は予算編成スケジュールの2か月の前倒しで予算審査に時間をかけようというものだが、ここに予算編成過程の公開は入らないか。

答

町長

編成過程では、町の財政状況の分析や経済見通しなど不安定、不確定な要素も含めながら検討する。十分に整理されてない途中段階での情報を公開することは、予算編成自体に混乱を与える可能性もあると考えている。透明性の確保は重要であると認識しており、予算編成の実効性とのバランスを十分に踏まえながら、適切な情報提供の在り方について研究する。

問

いきなり編成過程を全部公開しろというわけではない。まず来年度の予算編成はこういう方針、基本

的な考えで進めていくということを公開してはどうか。

答

総務課長

予算編成方針の公開については内部で協議をしていきたい。

問

行財政改革審議会がまとめる行革プランを町民と共有する場をどのように設定するか、選択と集中で公共施設の在り方や補助金について大幅に見直そうというとき、町民の理解をどう得るかが大切だが。

答

町長

各地域での説明会を実施する方向で検討している。その後パブリックコメントを行い、住民・関係者の御意見をいただき、最終的に改革プランを策定したい。



質問

町民主体による
看板製作を事業化できないか

住民参画型の看板製作はシビックプライドの醸成に効果的な事業だと思う

答弁

一問一答方式



片田 八重美 [かたた やえみ] 議員

問

モンベル鏡野店の相乗効果に期待するが、アウトドアイベント関係、若しくはモンベルフレンドエリアに該当しない町内のチラシを置くには、本部の許可と有料制であると聞き、矛盾を感じている。調整できないか。

答

町長

一般企業に関するものであり、モンベル店自体は、鏡野町が誘致した企業であり、申請してでもチラシ等を置かせてもらうことに矛盾は感じていない。

問

モンベル店のチラシは町内の観光施設に無料で置いてある。調整して頂きたい。

答

町長

相手のいる話ではあるが、話はしてみたい。

問

観光に関する財源確保はどのようなように推進していくのか。

答

町長

宿泊税の導入は多くの課題があるが、財源確保は重要であり、



答

町長

デジタル化により地図アプリ利用が増えているが、提案の住民参画型の看板作成は事業としてシビックプライドの醸成に効果ある事業だとおもう。設置責任も含め法令等いろいろ研究したい。

問

地域が大切に思える観光スポットを看板に、子どもから大人まで町民公募式にすれば、やがて町民が自慢できる町になるのでは。



質問 認可地縁団体の許可手続きの支援制度は



手続書類等が負担軽減になるよう
取り組んでいる

答弁

一問一答方式



牧田 俊一〔まさた としかず〕議員

問

認可地縁団体制度とは。

答

市町村の許可と公示をもって法人化する仕組み。これにより、団体名義での不動産登記や印鑑登録が可能になり、個人名義での登記に伴う相続トラブルを解消することができ。現在、町内では33団体（鏡野地域18団体、奥津地域15団体）が認可登録されている。

問

認可地縁団体許可に対し行政の支援制度・相談窓口の整備は。

答

総務課長

支援体制の窓口は総務課である。分かりやすいガイドラインの作成やホームページの様式の掲載、ひな型の提供、また、個別の相談等できる限り自治会の皆様の支援をさせていただいている。

問

認可地縁団体として創設するためには法律上、構成員の

名簿の提出が必要であるが基準はどのようになっているか。

答

総務課長

地方自治法上、年齢の制限はなく構成員である場合、子どもの氏名も記入する必要がある。しかし、実務上、構成員との意思決定、または自治会のそれぞれの運用実態に応じて、一律に記載してくださいというものではない。

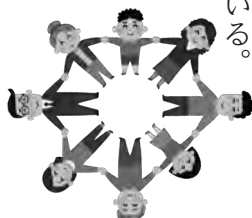
問

行政として認可地縁団体をどのように指導や管理をおこなっているか。

答

総務課長

申請の相談、受付審査、規約や代表者等の変更に伴う届け出の受理や公示など、認可地縁団体制度についての制度周知もおこなっている。



質問 観光局の計画は実行されているか



現場の乖離を認め行政が深く関与

答弁

一問一答方式



仲西 祐一〔なかにし ゆういち〕議員

問

令和5年度からの観光局の事業計画が進捗しておらず、実際は内容通りに実行できずうまくいっていない。現在の体制では町の観光産業を強力に牽引することは困難である。行政がお任せにするのではなく、外部人材に何を頼みどう取り組むのか、連携体制を抜本的に見直す考えはないか。

答

町長

これまでは観光局が自ら必要と判断した人材を招く形態を取っていたが、現場での乖離（かいはり）が生じたと聞いている。組織の抜本的な強化を図るためには、行政側もより深く関与することが必要である。現在は地域活性化起業者などの外部知見の導入で補完する形で、令和8年度は人材を派遣している。

観光局の体制見直しと組織強化





植木 卓[うえき たく] 議員

質問 旧耐震基準で建築された 消防機庫・消防器具庫は



68か所のうち建築時期不明を含め 25か所

答弁

一括方式

問 地震により、消防機庫・消防器具庫が全壊や一部倒壊になった場合、町の対応策は。

答 町長
まず、消防団員の安全確保を最優先に対応し、施設の安全確認を行いその上で、消防車輛や資機材の被害状況を確認し、消防団活動の継続を図る。施設の使用が困難な場合、地元集会所の活用や、近隣分団との連携により、活動拠点を確保する。

問 防災対策に対し、各課の横断的連携はどのようになっているか。

答 町長
特定の担当課だけでなく、対応するのではなく、町民の安全・安心を守るため、各課が連携して取組む。今後は、地域や消防団、自主防災組織等と協力していく。

問 消防団の環境整備の格差是正にどのような取組むか。

答 危機管理監
実態調査を令和8年度中を目途に、全68か所で実施する。結果を踏まえ、地域ごとの課題と緊急性を整理し、計画的に施設間の格差是正に取組む。

問 消防機庫・消防器具庫の施設管理の明文化や管理指示、各分団からの要望の対応は。

答 危機管理監
管理は各分団に委ね、要望は危機管理室で順次対応している。土地・建物の登記名義は地元地区や個人所有が混在しており、台帳整備の中で把握に務める。今後、管理の明文化を含め検討する。



質問 国の農業構造転換集中対策期間を、 鏡野町の農地と担い手を守る機会にできるか



地域計画を基軸に農地集積を進め、 夢アグリ鏡野や営農組織との連携を強化する

答弁

一問一答方式



竹下 桂輔[たけした けいすけ] 議員

問 令和7年度から11年度の5年間、国は2・5兆円規模の農業構造転換集中対策を打ち出した。担い手の高齢化と農地維持の困難化が深刻な中、この5年間で鏡野町は何を重点的に取組むか。

答 町長
今後5年間で「地域農業の維持から次世代への継承に向けた重要な期間」と位置付け、地域計画を基軸として担い手への農地集積を進めるとともに、夢アグリ鏡野や営農組織との連携を強化する。

問 集積先となるべき担い手自身が減り続けている現実がある。集積と担い手の確保・育成は両輪であるべきと考えるが、今年度中に動き出す見通しはあるか。

答 産業観光課長
上齋原地域への夢アグリ鏡野の事業展開が、地域内に担い手のいない農地を町の中核的担い手が引き受ける具体的な例になる。農事組合法人・町・夢アグリ鏡野の三者で話し合いの場を設け、受け皿の機能強化を図る仕組みづくりを検討する。

問 各地区の地域計画には目標値が設定されているが、現状維持の数値にとどまっている。この集中対策期間に、農家と町が一緒に目標を積み上げていくべきではないか。

答 産業観光課長
農地集積面積や担い手への集約状況など既に把握している指標も活用しながら、地域計画の推進状況を見える化できるよう、関係機関と協議しながら研究する。



質問

生涯学習出前講座を
新設してはどうか

現在は制度化していないが、本町にあう
形を研究し、学びの機会の充実に努める

答弁

一問一答方式



小椋 明美[おくら あけみ] 議員

問

住民のもとへ学
びを届ける「生涯
学習出前講座」の制度
を新設し、防災や健康、
財政などを身近に学べ
る機会を作ってはどうか。

答

教育長

学びを地域にお
届けする取組みにも通
じる大変有意義な提案
と受け止める。現在は
要請に応じた個別対応
のみで、制度化はして
いない。他自治体の事
例収集から始め、本町
にあう形を研究したい。

問

多くの課を横断
する内容になるが、
各課の連携・協力は可
能か。職員の負担軽減
のため、既存の情報を
伝える形からであれば
低予算で始められると
考えるがどうか。

答

生涯学習課長

各課の理解と協
力が不可欠。今ある対
応を講座としてどう取
りまとめ、業務の中で
どこまで対応できるか、
各課の状況を確認・検

討する。

問

住民の学習ニ
ズ調査はどのよう
に行うか。

答

生涯学習課長

公民館講座のア
ンケートや、公民館長
が日頃の住民との会話
から求める学びを把握
する方法が中心。これ
らを通じて要望を研究
する。

問

双方向の対話で
職員と住民の接点
が増え、協働のまちづ
くりにつながると思っ
たがどうか。

答

生涯学習課長

接点が増え、町
の仕事や制度を身近に
知ってもらう機会にな
ることは意義深い。そ
の点も含め在り方を研
究していく。



質問

各自で作成するマイ・タイムライン*を
どう啓発しているか

自主防災組織、防災講座等での周知、啓発を図り、
早期避難につながる取組を進めていく

答弁

一問一答方式



鈴木 大介[すずき だいすけ] 議員

問

令和8年5月末
より防災気象情報
が変わったが、何が変
わり、いつのタイミン
グで避難行動をとれば
よいのか。

答

町長

主な変更点は、
大雨や土砂災害、河川
氾濫、高潮に関する情
報について、情報の名
称に「レベル1〜5」
の警戒レベルが明記さ
れる。「洪水警報」
「洪水注意報」は廃止
され、河川の区分に応
じて伝え方が変わり、
「氾濫警報」となり、
警戒レベル4相当の情
報として、新たに「危
険警報」が創設。避難
行動は、警戒レベル3
で「高齢者等避難」、
警戒レベル4で「避難
指示」、警戒レベル5
は「緊急安全確保」と
されている。
日頃からハザードマ
ップ等で避難場所や避
難経路を確認し、テレ
ビ・ラジオ・インタ
ネット、気象庁防災サ

ービス「キキクル」な
どを活用し、早めの避
難行動を心掛けていた
だきたい。



問

河川氾濫警報に
当する河川はあるか。

答

危機管理監

洪水予報河川の
対象区間はない。

問

鏡野町内では4
つの警報のうち、
該当するものは大雨と
土砂災害の2つか。

答

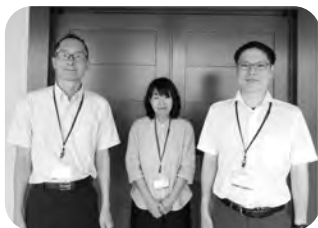
危機管理監

おっしゃる通り。

*マイ・タイムラインとは
住民一人ひとりのタイムラ
イン（防災行動計画）であり、
台風等の接近による大雨によ
って河川の水位が上昇する時
に、自分自身がとる標準的な
防災行動を時系列的に整理し、
自ら考え命を守る避難行動の
ための一助とするものです。



4月の人事移動で3名が議会事務局へ配属になりました。



写真左から
津高書記・瀬島局長・坂口書記



【広報特別委員会】
委員長 鈴木 大介
副委員長 難波 達男
委員 片田 重美
牧田 俊一
小椋 明美
竹下 桂輔
植木 卓

よう やりようるなあ〜♪ がんばっている町民に突撃インタビュー

令和8年 第28回 上齋原神社おんな相撲大会

日時：
令和8年5月3日(日)
11時20分から開催
場所：
上齋原屋内ゲートボール場



上齋原 猪八戒会長 田淵優一さんにお話をお伺いしました。

毎年恒例のおんな相撲大会を開催しました。例年は上齋原神社での開催ですが、今年はあいにくの雨模様で、会場を屋内ゲートボール場へ移しての開催となりました。参加選手は32名でした。鏡野町をはじめ福岡県、大阪府、東京都など、全国からエントリーしてくださいました。この大会は“常に女性が輝ける土俵を”ということで様々な工夫をしています。

パフォーマンス部門、花相撲、相撲甚句、行司、審判員も女性で、出番を増やしました。今回も町内外からたくさんの協賛をいただき子どもさんたちも懸賞幕をかかげる係で参加をいただきました。本当に感謝しかないですね。

今年、優勝の星乃山さんは初参加で、1年間ご主人を相手に練習されたと言われていました。来年もまた開催できるように私たちも踏ん張って「ハッケヨイ ノコッタ」です。とおっしゃっていました。



シリーズ② 議会用語

議会や議員、行政に関する用語をわかりやすく解説します。

補正予算とは？

予算成立後に生じた事情により、既定の予算の内容に変更を加えるものである。新たな事業の実施等により増額する場合もあれば、内容の変更等により減額する場合もある。当初予算と同様、議会の議決を経て決定される。

編集後記

子どもの頃、夏休みの朝はラジオ体操で始まりました。正直なところ、眠い目をこすって長い谷沿いの道を登っていくのが億劫だったものです。最近子どもも体操の輪も減り、賑やかな声を聞くことも少なくなりましたが、蝉の声だけは、あの頃と変わらず町に響いていきます。さて、6月会議では補正予算などを審議したほか、『地域法務支援制度』の創設を求める請願に込められた切実な声が、議会に届けられました。厳しい暑さが続きます。こまめな水分補給を心がけ、どうかご自愛ください。麦茶でも飲みながら、ゆっくり読んでいただければ幸いです。

(竹下桂輔)